

令和7年度 練馬区立三原台中学校 学校経営方針

校長 山崎 二郎

《本校の教育目標》

- 1 思いやりの心もち 他と共に生きる人
- 2 心身を鍛え たくましく生きぬく人
- 3 知性を磨き 個性を生かす人

《目指す学校像》

【厚い信頼関係で結ばれた学校】

- 生徒と生徒、生徒と教職員、学校と家庭・地域の間に厚い信頼がある学校
- 生徒にとって安全で安心できる学校
- 規範意識を育て、心豊かな人間関係の中で、人権を守る学校
- 学ぶ意欲を高めるために、生徒の学習力と教師の指導力を高める学校

《目指す生徒像》

【時を守り 場を清め 礼を正す三原台中生】

- 主体的に学び、調べ、仲間と協働でその学びを生かした豊かな表現のできる生徒
 - 自他の生命や人権を大切にし、互いに認め合いながら思いやりある言葉と心を込めた挨拶ができる生徒
 - 規範意識をもち、学校生活・社会生活のきまり・マナーの意義等の社会性を理解して実践する生徒
 - 心身ともに健康で体力向上に努め、困難なことにも粘り強く最後までやりぬく生徒
- 【学年キーワード】1年生－「学ぶ」 2年生－「伸ばす」 3年生－「生かす」

《目指す教職員像》

【教育者としての使命を全うする教職員】

- 教育者としての責任感と誇りをもち、服務事故を絶対に起こさない教職員
- 高い倫理観と社会的常識もち、生徒の模範となる教職員
- 教育に対する熱意と生徒への深い愛情をもち生徒の良さや可能性を引き出し伸ばすことができる教職員
- 協働して組織的な指導体制を構築することができる教職員
- 時代の変化に対応し、常に学び続け、互いに高め合う教職員

《具体的方策（一部）》

- 「ねらい」の明確化と「振り返り」を意識した授業づくりの習慣化を図る。
- 基礎学力の定着と向上を目指し、個に応じた学びの支援を大切にした学習指導を実践する。
- ICT機器を効果的に活用した分かりやすい授業、生徒自らがICT機器を活用する学習を充実させる。
- 「分かる」「できた」を実感させ「さらに知りたい」と向上心を引き出す指導の工夫と改善に努める。
- 規範意識や基本的な生活習慣を確立させる。
- いじめや不登校などの未然防止及び早期発見・早期解決のための情報収集及び共有と迅速な対応を行う。
- いじめアンケートを毎月実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の徹底を図る。
- 3年間の系統的な取組の中で、自己実現に向けた進路選択の力を養う。
- 職場体験等各種の体験学習を活用した望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の充実を図る。
- 地域の人材や関係諸機関を活用しながら、多様な考え方や生き方、社会情勢の変化を理解させる。